

【立ち読み】

# GO! GO! ペンタゴン

～VIVAジャグラー：入門編～



株式会社 七翔

著者 蒲生 力



## 目次

あいさつ .....	5
各部名称について .....	8
第1章 基礎知識.....	9
1 「スロットのタイプ」 .....	9
2 「コインの借り方」 .....	10
3 「スロット遊戯の流れ」 .....	11
4 「ストップボタンの止め方」 .....	12
5 「クレジット」 .....	13
6 「コイン詰まり時の対応」 .....	15
7 「クレジットに残っているコインを出す」 .....	16
8 「有効ライン」 .....	16
9 「ボーナス時のコイン獲得枚数」 .....	17
10 「リーチ目」と「ボーナス告知」 .....	18
11 「ボーナス時のプレイの仕方」 .....	21
12 「天井機能」 .....	22
13 「換金」 .....	22
14 「役とは」 .....	23
第2章 実践に向けて『知識ランクアップ』 .....	27
1 「設定」 .....	27
2 「機械割り／出玉率」 .....	29
3 「役の獲得・内部抽選」 .....	31
4 「ボーナス絵柄を目押しする」 .....	32
5 「機種別に機械割りを知る」 .....	35
6 「ビット数の存在」 .....	36



7 「自分の行くホールで良い台を知る」 .....	37
8 「良い台とは?・・・を計算する」 .....	39
9 「スロットで勝つ為の定義を知る」 .....	41
10 「アイムジャグラーEX で勝つ為に！」 .....	42
第3章 実践データを元に解説.....	44
実践記 1 .....	44
実践記 2 .....	64
実践記 3 .....	69
実践記 4 .....	74
実践記 5 .....	84
実践記 6 .....	88
実践記 7 .....	92
実践記 8 .....	96
実践記 9 .....	99
まとめ .....	101
最後に.....	103
【特典】のページ .....	104
リングにかけろ：特定子役獲得オモシロ手順 .....	104
新鬼武者：百鬼モード・オモシロ手順 .....	106
緑ドン VIVA! 情熱南米編：特定子役獲得オモシロ手順 .....	108



# GO! GO! ペンタゴン

## ～VIVAジャグラー：入門編～

### あいさつ

こんにちは、パチンコ指導書『ペンタゴン攻略』

携帯端末ツール「魚群探キチ」の作者：蒲生力です。

数年前、1冊目「パチンコ攻略開発手法の裏側」から始まり、今回で3冊目の本を書く事となりました。

皆様の暖かいご支持が、今回の出版に繋がったと深く感謝致します。

今回の題材は、初心者用の『スロット攻略本』です。

私、蒲生は昔からスロットもパチンコに負けないくらい打ち込んで来ました。

パチンコ出張指導等で、私に会ったことのある方はご存知かも知れませんが、蒲生の左手の小指は、レバータコ（レバーを叩くことによって出来るタコ）がある位で、どれだけ打ち込んでいるか分かって頂けるでしょう。

#### スロットの現状

スロットは、数年前4号機（ストック機：爆裂機）から5号機（穏やかな波の機種）となり、規制が厳しくなってギャンブル性が乏しくなった事をきっかけにスロットファンの方々が激減しました。と共に余儀なく「スロット専門店」まで閉店に追いやられました。現在少しずつではありますが、スロット業界に復活の兆しが見えてきています。

それには、根強いスロットファンの方々がいた事が理由に挙がるでしょう。

しかし、パチンコ同様に「勝てない」で困っている方は大勢います。

またパチンコと違い、スロットを打つ方は年齢層が若いように見えますので、中・高年齢の方には打ちにくい印象があるのではないかと思います。ですが、スロットの機種によっては、それなりに中・高齢者の方も楽しんでおられるようです。

若い方々は、コンビニなどで手に入る「雑誌」や「小役カウンター」等を利用し、それらの「知識」や「道具」を武器とし、勝利へ結び付けているようですが、私達くらいの中年から高齢者になりますと、「雑誌を読んで理解するのが面倒だ・・・」とか「小役カウンターの使い方が分からないだろう・・・」という先入観が先に立ってしまい、敬遠しがちになります。



確かにそれらの道具は上手に使うことが出来なければ、宝の持ち腐れとなってしまいます。

ちなみに私も、「小役カウンター」は購入しましたが、私の立ち回りにそぐわないので、一度も使用していません。

根本的に雑誌類も知識にはなりますが、『実践で収支を得る』という事について、そんなに役には立たないと判断していますので基本的に買いません。

そのような雑誌・道具（小役カウンター）が粗悪品だから・・・とは言いません。むしろ「数字から台の設定を読み、高設定の台で勝負しよう」というモノですから、蒲生理論に似ています。

ですが、「蒲生流の立ち回り・勝ち方」の方が、より『実践的』です。

では、なぜ蒲生は「雑誌」や「小役カウンター」は、実践的ではないと言うのか・・・？

理由は簡単です。

スロットは基本、設定で勝敗が決まります。

雑誌類では【高設定（4・5・6）の挙動実践データ】と【低設定の挙動実践データ】を記載して、【その違いで『設定を見抜け』】という内容だからです。

【「小役カウンター」は、小役の獲得数により『プレイしている台の設定を判別する』道具】です。

もちろん、両方共違う利用の方法をしている方々もいるかも知れませんが、これらの内容（雑誌や小役カウンター）が「勝てない」とも言いません。

基本は大切に、数値を知る事は当然大事な事です。

どちらにも言える事は、『高設定の判別』がベースである事です。

## 結局

『設定5や6を探し、その台を打て！』

『高設定台の見極め方はこうだ！』

というモノでしかありません。

しかし・・・よくよく考えて欲しいのです。



## 現在のホールに『設定5・6の台が、どれだけ入っているでしょうか?』

10台に1台も入っているでしょうか・・・?

その裏づけとして、数年前あるホールを借りてパチンコの撮影をした事があります。その時にホールに設置してある、スロット「ジャグラー」の設定を見たのですが、全台が設定1でした。

ここまで酷い営業をしているホールは少ないでしょうし、確かに高設定を使っているホールもありますが、多用はしていないように思えます。

そんなホールの現状で、「高設定はこんな台!」「高設定を探せ!」と言われても、朝から学生さんや若い方々が多くプレイしているホールであれば、高設定と思われる良い台を手放すはずがありません・・・。

という事は、平日夕方からホールへ行っても高設定の台に座ることは難しくなりますし、休みの日に朝からホールへ行っても、どの台が高設定か分からずプレイしている方も多いのではないのでしょうか? 一般の方が負けて当然の結果となります。

それでは、どうすれば現状のホールで勝利を収めることが出来るのか? と、蒲生は考えました。

## 実際ホールで、通常利用されている設定や状況を上手く活用しよう!

分かり易く良いきますと「**設定2~4で勝つ!**」という理論です。

今回は、その『**実践的スロット立ち回りの極意**』を、この本に記載していきます。

この本では、メーカー北電子から販売されていますスロット「アイムジャグラーEX」をメインに解説していきます。後で説明しますが、このジャグラーというのはスロットの中ではゲーム性が一番分かり易く、多くのホールに導入され、多くの方に馴染みのある機種です。液晶画面や派手な演出・音などはありませんが、よく出来たスロット台ですし、昔から多くのスロットファンに愛されてきたノーマルタイプで奥の深い機種です。

最近の新しいタイプのスロットばかりを追いかけ、ノーマルタイプを打たない方が多くなっていますが、勝つ為にはこのようなノーマルタイプをマスターする事が大切です。





基本を分からずして、応用が効くはずありません。

蒲生は、「ジャグラーで勝たずして、スロットを語るな！」と言わせて頂きます。

それ故に、ジャグラーで勝てるようになれば、他の機種も勝てるようになります。  
頑張って、「GOGO!ペンタゴン」(ジャグラー攻略)をマスターしましょう！

## 各部名称について





## 第1章 基礎知識

### 1 「スロットのタイプ」

スロット初期の頃は1号機、1・5号機と言われるものがありました。時代の流れに沿って4号機、4・5号機、現在の5号機という風になってきました。ちなみに、皆様も耳にした事があると思われます「北斗の拳」や「吉宗」、「番長」などは、4号機、4・5号機というものになります。当時の台は、「波」が激しく、プレイヤーの射幸心を煽るとの事で規制が行われ、現在の5号機となり波の緩やかな『作り』『ゲーム内容』になりました。ボーナス時の獲得枚数固定方式が取られ、特定（規定）の枚数に払い出しが達しますと、ビックボーナスが終了するという仕組みになり『技術介入』が出来ないようになっていました。

大まかにスロットの機種を『タイプ』別に分類しますと、

- ・ノーマルタイプ
- ・RTタイプ
- ・ARTタイプ
- ・沖スロ                    となります。

北電子のジャグラーシリーズや、山佐のパルサーシリーズといった、比較的誰でも気軽にプレイできる機種を『ノーマルタイプ』と言います。

このジャグラーやパルサーの様に「シリーズ化」しますと、名称やゲーム性、リールに書かれている絵柄が、前作と多少変わってきます。今回この本に主として書かれているジャグラーは、「アトムジャグラーEX」というものです。他にジャグラーシリーズとして、『マイジャグラー』や『ジャンキージャグラー』というネーミングのジャグラーもあります（後ほど紹介し、違いが分かるようにします）

次に、ノーマルと異なるタイプのスロット機種を紹介しますと、RTタイプという機種があります。この「RT」とは「リプレイタイム」というもので、リプレイ（再遊戯）の確率が変動する状態のことです。一般にはリプレイ確率が上がることで通常より回転数・ボーナスが増え、小役やボーナスの抽選をより多く行えるという機能の事を言います。

他には、最近の5号機の主流になっている機能がARTというタイプ。このARTとは「アシストリプレイタイム」というものです。小役の同時抽選（ボーナスとの同時抽選）が可能になった事からリール制御を組み合わせた「押し順をナビする」ものであり、目押しなしで小役が得られるもので、ART とボーナスの連チャンで一気に大量コインの獲得が可能になった機能でもあります。





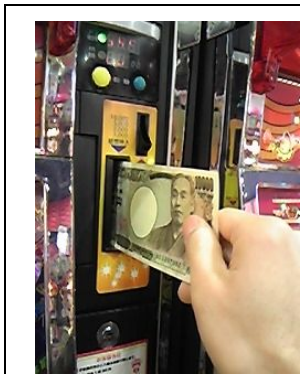
最後に『沖スロ』というタイプがあります。沖縄県で主流のスロットの事で、機種は「トリプルクラウン」「ニューハナハナ」などがあります。沖スロの特長としましては、コインの大きさが通常と異なり、30パイと言われる大きめのコインを使用する事です。1回のビックボーナスで下皿が一杯になってしまう程の大きいコインです。最近では、本土が通常使用するコイン、25パイ用の『沖スロ』も出てきています。また、『沖スロ』のボーナス告知は、完全告知を基本とする機種がほとんどです。

以上さまざまなスロットのタイプがありますが、今回はあくまで初心者用としての本ですので、ノーマルタイプのジャグラーの事を中心に記載しています。

## 2 「コインの借り方」

スロットはパチンコと違い、玉ではなくコインを借りて遊戯します。

ホールからのコイン借り出しは、1000円で50枚（単価20円）が基本です。最近では、10スロ（通常価格の半分）、すなわち1000円で100枚のコインの借り出しが出来るホールや、5スロ（ゴスロ）＝1枚のコイン単価が5円で、1000円で200枚のコインの借り出しが出来るホールもあります。パチンコで言う「1パチ」と似ていますね。



コインを借りる為には、プレイするスロット台の右側に設置してある、通称「コインサンド」と言われる『コイン借り出し機』に紙幣を入れます。

現在は、1万円紙幣も入れることが可能となっていますが、ホールによっては1000円札しか受け付けないコインサンドもあります。そのようなホールには、スロットコーナー付近に、両替機が完備してありますので心配無用です。



一度に1000円分のコインを借りることができます。再度コインを借りたい場合は、『貸出』ボタンを押しますと、また1000円分のコイン（50枚）が出てきます。プレイを中止し台を移動する場合は、『精算』ボタンを押します。そうしますと、Vコインと言われる、その店専用のコインに残金がインプットされ、そのVコインが返却されます。このVコインは、他の台脇サンドに投入しますと、その台で残っている金額分を再度プレイする事ができます。